

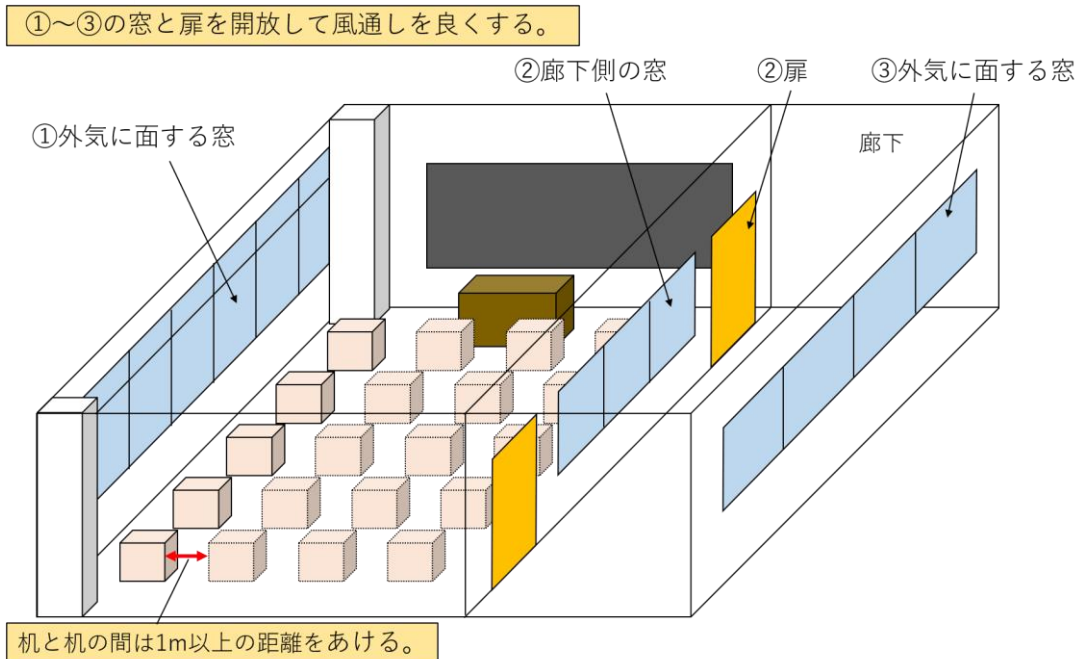


小中学校の再開に向けてコロナウイルス対策の換気方法に関する考え方について

小中学校の再開に関して、文部科学省から「換気の悪い密閉された空間」がコロナウイルスの感染に係わると指摘があり、「こまめな換気」や「換気の励行」が推奨されています。換気の専門家としては「換気の励行」がどのような換気を示しているのか不明ですし、換気だけで感染が予防できるとは思えません。換気扇を運転するだけでは感染を予防できる量の換気は出来ません。感染を少しでも予防するためには、外気に面している窓を開放して、かつ廊下側の窓或いは扉を開放して風通しを良くすることが最小限必要と思います。コロナウイルスの感染は、接触感染、或いは飛沫感染が殆どで、感染者が放出したウイルスが風によって他の人に運ばれて感染することは殆ど無いと思われます。しかし、放出されたウイルスを少しでも薄めて飛沫感染を予防するためには大量に換気する必要があると考えられます。今の時期に窓を開放することは、温度が下がり、教室が寒くなってしまいますが、衣服で調節して多少の我慢が必要と思います。

この考え方は換気の専門家として長年研究している新潟大学赤林教授の考え方ですので予めご了承ください。

小中学校の再開に向けてコロナウイルス対策の換気方法に関する考え方について



コロナ対策について、建築学会と空気調和衛生工学会の共同で会長緊急談話がHPに掲載されました。

<https://www.aij.or.jp/jpn/databox/2020/200323.pdf>